

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	井後 幸太郎	会員番号:	8870	事務局整理記入欄	北海道 - 180
分水嶺区分	H184美利河峠～H185 440.8	(3) 山行日:	2005年 2月 5日	(4) 天候	雪:積雪 2m		

(5) 参加者氏名および会員番号

井後 幸太郎	8870
上島 忠義	10306
米村 清一	10314
西野 数之	11515

サポート要員氏名および会員番号

藤内 英夫	11883
畠山 迪子	12850

計 4名

計 2名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		H184美利河峠～H185 440.8～ピリカスキー場											
アプローチ:		ピリカスキー場～美利河峠											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点													
分水嶺到達点H184	美利河峠	美利河	140	12	37.5	42	28	16.3	160		7:30	A-1	
	194m	美利河	140	12	31.9	42	28	12.9	194		7:37	B-4	(9)
	377m	美利河	140	12	52.9	42	27	23.6	377		11:01	B-4	(8)・(9)
分水嶺離別点H185	440.8	美利河	140	12	46.0	42	27	14.1	440		11:30	B-4	(9)
歩行終了点	ピリカスキー場	美利河	140	12	4.2	42	28	11.6	130				
総歩行時間(休憩時間を除く)												4時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H185	440.8				積雪の為不明

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

分水嶺西にピリカスキー場がある。

(9) 水および植生に関連した特記事項

植林(松)帯多し。 分水嶺はせまい地点と不明瞭な複雑な尾根筋で難儀する。

(10) その他の特記事項

複雑かつ細かく左右に振られ、小さな高低の繰り返しで著しく進捗を妨げられ、行く先の見通し悪く思いやられる。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: